

## 『まちづくり大山』 地域資源を活用した取り組み

まちづくり大山は「大山地区の地域資源（自然・歴史・食など）を活用した地域づくり」を目標に取り組んでいます。

設立当初の取り組みとして大山地区をもっと多くの方に知っていただくため、大山地区を再発見し地域の良さを知ることのできる「大山地区おもしろマップ」を作成しました。

マップは各集落からいただいた集落の由来や伝統的行事、さいのかみさん、観光施設や観光農園、自然環境などを掲載しており、マップを見るだけで大山地区のさまざまな情報が分かるようになっていきます。また、マップを活用した事業にも取り組んでいます。

### 「大山古道（坊領道）の活用」

大山開山1300年を契機に、大山古道の整備と活用に取り組みました。

大山地区には大山古道の内、川床道と坊領道が通っており、坊領道は大山地区を縦断しています。古地図をもとに、坊領道について古老から話を聞き、実際に歩いて道を特定し



▲大山古道ウォーク（地域の方の解説）

ました。種原バス停付近から籠立橋バス停の間は、一町地蔵が点在した道が残されていましたが、とても歩ける状況ではありませんでした。現在は、古道を整備し、散策可能な状態にして、ウオーキングイベントを毎年開催しています。イベントには町内外から多数ご参加いただき、地域の方による解説が好評を得ています。最近では、大山青年の家の活動にも坊領道が活用されています。

### 「佐摩山登山道整備事業」

大山地区が一望できる「佐摩山」はこれまで登山ルートがなかったことから、登山道を整備しました。

新たな道の整備ということで、階段、ロープ、看板を設置しましたが、整備に3年かかりました。また、佐摩山山頂付近で、「ダイセンミツバツジの群生林」を発見しました。5月連休ごろにきれいな花を咲かせています。

今では、佐摩山は保育所・小学校



▲整備された登山道

PTAの親子レクリエーションなどにも活用されています。さらに、佐摩山から孝霊山ルートの整備を行ったことで、佐摩から長田までの登山コースもできました。このコースを活用した軽登山を毎年春のダイセンミツバツジの見頃に合わせて開催しています。

まちづくり大山は、このような活動が、地域活性化につながる一歩だと信じ、これからも地域資源の活用に取り組んでいきます。